

21. その他

文献

和田恒彦, 臼田幸世, 福島正也, ほか. 足底部への押圧刺激は腰部の皮膚温を上昇させるか? 足底部刺激と腰部刺激による腰部皮膚温の比較. *日本手技療法学会誌* 2004; 15(1): 18-22. 医中誌 web ID 2006259813

1. 目的

足底部と腰部の押圧刺激による腰部皮膚温反応の比較検証

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (cross over) (RCT-cross over)

3. セッティング

筑波大学理療科教員養成施設

4. 参加者

健康成人男性、16 人平均年齢(平均年齢 29.9±5.4 歳)

5. 介入

Arm 1 : 足底部刺激群 3 人 (平均年齢 不詳)

Arm 2 : 腰部刺激群 3 人 (平均年齢 不詳)

6. 主なアウトカム評価項目

赤外線サーモグラフィ、熱電対

7. 主な結果

(1)刺激前後の変化 : 1) 足底部(右)刺激により、腰部皮膚温 (エリア A、B、C) が刺激前に比べ有意 ($p < 0.05$, $p < 0.01$, $p < 0.001$) に上昇。また殿部・膝窩部・足底部(左)皮膚温においても有意 ($p < 0.01$, $p < 0.001$) に上昇。2)腰部刺激 (L5 脊柱起立筋内縁) により、腰部皮膚温 (エリア A、B、C、D、E) が刺激前に比べ有意 ($p < 0.05$, $p < 0.01$, $p < 0.001$) に上昇。また殿部・膝窩部・足底部 (左右) の皮膚温は何れも有意 ($p < 0.01$, $p < 0.001$) に上昇。

(2)足底部刺激と腰部刺激の比較 : 腰部刺激により腰部皮膚温がエリア E において有意に上昇。足底部刺激により左足底部 (刺激側) の皮膚温が有意に上昇。他の部位は有意差がなかった。

8. 結論

足底部、腰部への押圧刺激により、いずれにおいても刺激局所のみならず腰下肢全体への皮膚温上昇が認められ、効果の発現に脊髄以上の関与が示唆される。

9. 論文中の安全性評価

記載なし。

10. Abstractor のコメント

本試験は、システムティックにプロトコールに基づき実施された研究であるが、腰部および足底部への押圧刺激で何れも腰部から足底にかけての皮膚温上昇を観察しているが、全身的な反応も起こっていると思われるので上半身の皮膚温測定が必要と考えられる。また、腰部及び足底部刺激の特異的效果を観察するには、血流などの他の自律神経指標による評価項目を増やす必要があると考えられる。

11. Abstractor and date

緒方昭広 2011,12,17